

科目名	ホテル概論②						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	ホテルにおいて ホテル業務全般を担当		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	前期で学んだホテルの組織や業務内容などの基本と夏季実習の現場で学んだ知識経験をリンクさせ、ホテル業界の将来性などを考える。 また、2年次に受験するホテルマネジメント実務検定2級取得の為の基礎とする。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				セールス・予約業務など現場でのサービス以外の業務について説明できる。	
	○	○				ホテルの安全管理・リスクマネジメントについて説明できる。	
	○	○				ホテルビジネス実務検定2級の問題に解答できる。	
テキスト・教材 参考図書							
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期復習とH検定過去問例題					
	2	ホテルウェディングの概要・ホテルが行うブライダルセールス					
	3	ホテルでの宴会や会議の種類、宴会予約課の業務					
	4	宴会サービス課の業務、宴会設営に関する基礎知識					
	5	ホテルに求められる安全管理					
	6	より良いサービスとホテルの将来展望					
	7	後期期末試験に向けたまとめ					
	8	ホテル概論 総まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験の点数で評価する (2)毎授業で小テストを実施する (3)授業内で作成するレポートの内容・提出状況を評価とする。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	◎				50%
	小テスト	○	◎				20%
	課題・レポート		◎		○		30%
履修上の注意							

科目名	実用英語 I、II-②					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	波多野 里美	
実施年度	2019年度	実施時期	前期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・2年 ・ エアライン科 1年・2年					
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習します。授業は、朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組みますので予習・復習を忘れないでください。また英作文にも取り組みます。英単語・英熟語については、各自自宅学習してください。					
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
		○				目標
		○				英検準2級の合格を目指す。
		○				英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。
		○				英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。
	○				英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。	
	○				英検準2級程度の英作文を書けるようになる。	
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	6	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	7	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	8	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	9	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	10	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	11	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	12	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	13	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	14	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	15	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。	
	16	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	17	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	18	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	19	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	20	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。	
	21	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	22	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	23	リスニング・会話文の文空所補充テキスト・英作文			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと	
	24	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
25	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		

	26	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	27	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	28	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	29	リスニング・短文の語句空所補充・英作文	教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと				
	30	英語Dクラス 学期末試験	授業内容に係る学期末テストを実施するので復習しておくこと				
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)検定取得を考慮する。(3)授業の中で小テストを5回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	小テスト		○				50%
	検定取得		○				
	朝課題・宿題・授業態度				○		
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。 出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 I、II - ②						
科目名(英)	Practical English						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科1.2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング、リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					文法:基本文法を理解する事ができる	
	○					語彙:TOEIC頻出単語を覚え、使用する事ができる	
	○					リスニング:様々な国の英語に慣れ、話の内容を理解する事ができる	
	○					リーディング:ビジネス文書や記事を読み、内容を理解する事ができる	
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集2(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	2	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	3	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	4	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	5	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	6	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	7	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	8	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	9	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	10	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	11	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	12	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	13	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	14	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
	15	Listening, Reading				Readingの該当箇所を事前に解しておくこと	
評価方法	(1)毎週、単語テストを実施する (2)朝自習プリントを提出する事 (3)定期試験(筆記)を実施する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
	発表・作品						
履修上の注意	・授業中のスマホ禁止 ・辞書を持参する事 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語 I ー②					
科目名(英)	Practical English I ー②					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	津田 徳子	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	エアライン科・ホテルブライダル科 1年・2年					
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力を高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く能力を実践的に修得する。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○					目標
	○					英語検定2級レベルの語彙(4,000~5,000語)の意味を理解できる。
	○					まとまりのある説明文を理解したり、実用的な文章から必要な情報を得ることができる。
	○					日常生活での情報・説明を聞き取ったり、まとまりのある内容を理解することができる。
	○					日常生活での出来事について説明したり、用件を伝えたりすることができる。
	○	○				日常生活での話題についてある程度まとまりのある文書を書くことができる。
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・旺文社 DAILY20日間 英検2級集中ゼミ ・旺文社 2018年度版英検2級過去6回全問題集&CD ・桐原書店 English Grammar Navigator Workbook 					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	プレースメントテスト				
	2	プレースメントテスト				
	3	英検2級の概要と学習の進め方、分野別学習方法(語彙1)				
	4	分野別学習方法(語彙2、リスニング問題 会話文1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	5	分野別学習方法(語彙3、リスニング問題 会話文2)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	6	分野別学習方法(イディオム1、リスニング問題 文の内容一致1)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	7	分野別学習方法(イディオム2、リスニング問題 文の内容一致2)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習	
	8	分野別学習(語彙、イディオム)確認テスト、リスニング問題			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	9	分野別学習方法(語句の空所補充問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	10	分野別学習方法(語句の空所補充問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	11	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題1、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	12	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題2、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	13	分野別学習方法(長文の内容一致選択問題3、リスニング)			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	14	長文の内容一致選択問題の確認テスト、英作文の書き方			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習	
	15	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	16	英作文(文型3)の書き方、文法(時制・品詞)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読み、問題を解いておくこと	
	17	英作文(文型2・文型4)の書き方、文法(分詞)、リスニング			総合問題を事前に読み、問題を解いておくこと	
	18	総合問題(英作文)、リスニング			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと 学習範囲の復習	
	19	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと	
	20	演習問題(所定時間内で解答する)、リスニング			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと	
	21	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)				
	22	実践問題(過去問題より 2018年度第3回)の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと	
	23	実践問題 2018年度第3回の解答解説			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと	
	24	2018年度第3回問題より、英作文の解説と作文のポイント			不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解いておくこと	
25	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)					

	26	実践問題(過去問題より 2018年度第2回)	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解しておくこと				
	27	実践問題 2018年度第2回の解答解説	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解しておくこと				
	28	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)					
	29	実践問題(過去問題より 2018年度第1回)	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解しておくこと				
	30	実践問題、定期試験(50分間)	不正解の問題の復習と、配布資料の該当範囲を事前に解しておくこと				
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○		○		25%
	宿題	○			○		20%
	授業前課題				○		5%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・授業前課題を必ず行うこと。この課題の確認テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。 ・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。 ・授業には、英和辞典(電子辞書可)、筆記具、ノートを持参すること。アプリの辞書機能は使用しない。 						

科目名	実用英語 I II ②					
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 nd Grade					
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	辻 泰宇	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科、エアライン科 1, 2年					
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。					
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	
	○					目標
		○				語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる
		○				読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる
		○				リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる
	○				英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・ できる順パス単 英検2級 					
授業計画 授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	序説: 名詞・形容詞・副詞の役割と文の要素SVOC			左記の内容をそれぞれ言えるように覚えること	
	2	序説: 5文型と文構造			各文型の基本構造を言えるように覚えること	
	3	1日目: 短文の語句空所補充問題①(単語)解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	4	2日目: 短文の語句空所補充問題②(熟語)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	5	3日目: 短文の語句空所補充問題③(文法)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	6	4日目: 短文の語句空所補充問題④(語法)解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	7	5日目: 長文の語句空所補充問題① 解説・問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	8	6日目: 長文の内容一致選択問題① 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	9	6日目: 長文の内容一致選択問題① 問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	10	7日目: 長文の内容一致選択問題② 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	11	7日目: 長文の内容一致選択問題② 問題 [A] [B]			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	12	8日目: 英作文問題① 解説			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	13	8日目: 英作文問題① 問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	14	9日目: 会話の内容一致選択問題① 解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	15	10日目: 文の内容一致選択問題① 解説・問題			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	16	9日目: リスニング問題を攻略! ①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	17	10日目: リスニング問題を攻略! ②			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	18	11日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 単語⑤			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	19	演習: リスニング特訓①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	20	12日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 熟語⑥			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
	21	13日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 文法⑦			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること	
22	14日目:【応用】短文の語句空所補充問題を攻略! 語法⑧			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		

	23	演習：リスニング特訓②	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	24	15日目：【応用】長文の語句空所補充問題を攻略！②-1	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	25	15日目：【応用】長文の語句空所補充問題を攻略！②-2	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	26	演習：リスニング特訓③	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	27	16日目：【応用】長文の内容一致選択問題を攻略！③-1	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	28	17日目：【応用】長文の内容一致選択問題を攻略！③-2	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	29	演習：リスニング特訓④	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
	30	前期定期試験（筆記）	テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること				
評価方法	(1)、月曜日から金曜日まで毎朝、英語テストを実施する(時間厳守!!)。 (2)、朝自習のプリントは自己採点の後、担任の先生に必ず提出すること。 (3)、前期・後期の各学期中に定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎	○		○		25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・辞書を持参すること ・授業中の私語、スマホの使用は禁止 ・授業外での自主学習の推奨						

科目名	実用英語 I, II - ②					
科目名(英)						
単位数	4単位	時間数	60時間	担当者	内丸 誌帆	
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○	
対象学科・学年	ホテルブライダル・エアライン科 1年 2年					
授業概要	基本的な文法・単語を理解し、業務に必要な最低限度の英語力を身につける。 英検3級合格を目標とする。					
授業形式	講義: ○	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標
	○					会話の内容を聞き取り、短文英語で答えることができる。
	○	○				頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる
				○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる
テキスト・教材 参考図書	旺文社 英検3級集中ゼミ／でる順パス単 英検3級 啓隆社 英作基本文例600／Baton Pass					
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示	
	1	実用英語1 英作文問題① / リスニング				
	2	実用英語2 英作文問題① / リスニング				
	3	実用英語3 英作文問題② / リスニング				
	4	実用英語4 英作文問題② / リスニング				
	5	実用英語5 リスニング第1部				
	6	実用英語6 リスニング第2部				
	7	実用英語7 リスニング第3部				
	8	実用英語8 リスニング第1部				
	9	実用英語9 リスニング第1部				
	10	実用英語10 リスニング第2部				
	11	実用英語11 リスニング第3部				
	12	実用英語12 読解問題 提示 / リスニング				
	13	実用英語13 読解問題 e-mail / リスニング				
	14	実用英語14 読解問題 手紙文 / リスニング				
	15	実用英語15 読解問題 説明文 / リスニング				
	16	実用英語16 過去問演習				
	17	実用英語17 過去問演習				
	18	実用英語18 過去問演習				
	19	実用英語19 過去問演習				
	20	実用英語20 過去問演習				
	21	実用英語21 過去問演習				
	22	実用英語22 過去問演習				
	23	実用英語23 過去問演習				
	24	実用英語24 過去問演習				
25	実用英語25 過去問演習					

	26	実用英語26 過去問演習					
	27	実用英語27 過去問演習					
	28	実用英語28 過去問演習					
	29	実用英語29 過去問演習					
	30	実用英語30 総まとめテスト					
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				20%
	宿題・レポート		○				20%
	態度				○		10%
履修上の注意							

科目名	Excel						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	北島正幸		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	エアライン・ホテルブライダル1年						
授業概要	あらゆるビジネスシーンに最も活用されている「表計算ソフトMicrosoft Excel」。そのExcelの基本の習得を目指すとともにPCスキル並びにITリテラシーの向上を図ります。講義終了後に行われる「サーティファイExcel表計算処理技能認定試験3級」の合格を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					Excelの表計算機能を理解する	
		○				Excelの表計算機能を利用することができる	
		○				文字入力を支障なくできる	
テキスト・教材 参考図書	Excel2016クイックマスター（基本編） Excel文書処理技能認定試験 3級 問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Introduction・環境設定					
	2	Excelの基本					
	3	データの編集					
	4	表の編集					
	5	表の編集					
	6	ブックの印刷					
	7	グラフと図形の作成					
	8	グラフと図形の作成					
	9	ブックの利用と管理					
	10	関数					
	11	関数					
	12	データベース機能					
	13	総合学習問題					
	14	総合学習問題					
15	模擬問題						
評価方法	講義出席・練習問題・課題提出のすべて行って平常点100点とし、検定試験の点数との平均で行う。 検定試験の点数が60点以下・または受験しなかった場合は別途担当教員から試験・またはレポートを課す。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(検定試験)	◎	◎				50%
	練習問題	◎	◎				50%
履修上の注意	出席が10回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。15回の講義のあと4回の補講があります。						

科目名	実用英語補講 I						
科目名(英)	Practical English (supplementary) I・II						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	深川信子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科・エアライン科1.2年						
授業概要	国際的なビジネスの場で必要とされる英語の能力を養う事を目的に、TOEICの問題を中心にリスニング、リーディングの演習を行います。また、文法・語彙の強化に努め、TOEICのスコアアップを目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					文法:基本文法を理解することができる	
	○					語彙:TOEIC頻出単語を覚え、使用する事ができる	
	○					リスニング:様々な国の英語に慣れ、話の内容を理解することができる	
	○					リーディング:ビジネス文書や記事を読み、内容を理解することができる	
テキスト・教材 参考図書	公式TOEIC Listening&Reading問題集2(国際ビジネスコミュニケーション協会) TOEICテスト英文法をひとつひとつわかりやすく(学研) TOEIC L&R出る単特急銀のフレーズ(朝日新聞出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	2	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	3	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	4	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	5	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	6	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	7	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
	8	Listening, Reading				Readingの該当箇所を解いておくこと	
評価方法	(1)毎週、単語テストを実施する (2)朝自習プリントを提出する事 (3)定期試験(筆記)を実施する以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	小テスト	◎					25%
	宿題・レポート	◎	○		○		25%
履修上の注意	・授業中のスマホ禁止 ・辞書を持参する事 ・授業外での自主学習						

科目名	実用英語補講 I						
科目名(英)	Practical English (Make-up classes) I						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	津田 徳子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	高校3年までに学習する英語の4技能(読む・書く・聞く・話す)の表現力と高めることを目的とする。4技能を活かし、エアライン業界やホテル業界などの接客において、外国人とのコミュニケーション力を身につける。また、「英会話」や「英語表現」などと連動し、話す、書く力を実践的に修得する。英語検定のための、受験指導を含む。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					語彙:英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる	
		○				読解:基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる	
		○				リスニング:様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる	
		○				英作文:基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・2019年度版英検2級過去6回全問題集 ・でる順パス単 英検2級 						
授業計画	回数	授業項目・内容授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実践問題(2018年度第1回)					
	2	実践問題(2018年度第1回)解答解説、			2018年度第1回不正解問題の再解答		
	3	実践問題(2018年度第2回)			2018年度第2回不正解問題の再解答		
	4	実践問題(2018年度第2回)解答解説			2018年度第2回における語彙、文法の復習		
	5	実践問題(2018年度第3回)			2018年度第3回不正解問題の再解答		
	6	実践問題(2018年度 第3回)解答解説			2018年度第3回における語彙、文法の復習		
	7	実践問題(2018年度 第1回～第3回)総復習			2018年度3回分における語彙、文法の復習		
	8	学期末試験(50分間)、受験上の注意点と総まとめ					
評価方法	(1)授業の中で確認テストを2回以上実施する。(2)授業前課題・宿題を数回実施する。(3)定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	確認テスト	○	○		○		25%
	宿題	○			○		20%
	授業前課題				○		5%
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・朝課題を必ず行うこと。この課題の確認テストは、基本的に毎週月曜日に実施し、平常点となる。 ・与えられた課題は必ず行い、授業に出席すること。 ・授業には、英和辞典(電子辞書可)筆記具、ノートを持参すること。アプリ辞書機能は使用不可。 						

科目名	実用英語補講ⅠⅡ						
科目名(英)	Training Practice for STEP 2 nd Grade						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	辻 泰宇		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年						
授業概要	就職活動の資格試験として合格し、国際的なビジネスの場で必要とされる英語運用能力を養うことを目的とし、英検2級の問題を中心にリーディング・リスニングの演習を行います。また、英文理解力、語彙の強化に努め、英検2級の合格を目指します。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	目標	
	○					語彙: 英検2級に頻出の単語や表現を覚え、理解することができる	
		○				読解: 基本的な英文の内容を理解し、正しく理解することができる	
			○			リスニング: 様々な内容の英語を理解し、正しく理解することができる	
				○		英作文: 基本的な単語を使って、言いたいことをどうにか伝えることができる	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 英検2級集中ゼミ20日間 [新試験対応版] ・ できる順パス単 英検2級 						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	【筆記[1]】 短文の語句空所補充問題①+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	2	【筆記[2]】 長文の語句空所補充問題①+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	3	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題①+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	4	【筆記[3]】 長文の内容一致選択問題②+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	5	英作文・リスニング演習①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	6	【筆記[1]】 短文の語句空所補充問題②+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	7	【筆記[2]】 長文の語句空所補充問題②+過去問演習			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	8	英作文・リスニング演習①			テキストと問題を事前に読んで、知らない単語を調べてくる、授業後には覚えること		
	評価方法	(1)、月曜日から金曜日まで毎朝、単語テストを実施する(時間厳守!)。 (2)、朝自習のプリントは自己採点の後、担任の先生に必ず提出すること。 (3)、前期・後期の各学期中に定期試験(筆記)を実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)、D(59点以下)とする。					
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
定期試験		◎	◎				50%
小テスト		◎	○		○		25%
宿題・朝自習課題		◎	○		○		25%
発表・作品							
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・辞書を持参すること ・授業中の私語、スマホの使用は禁止 ・授業外での自主学習の推奨 						

科目名	実用英語補講 I						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	波多野 里美		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテルブライダル 1年・2年 ・ エアライン科 1年・2年						
授業概要	テキストの英検過去問題集を徹底的に学習することにより、合格を目指します。毎朝、朝課題に英単語熟語の問題を学習します。授業は、朝リスニング問題を実施します。また、テキストの英検準2級過去問題集に徹底的に取り組みますので予習・復習を忘れないでください。また英作文にも取り組みます。英単語・英熟語については、各自自宅学習してください。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					英検準2級の合格を目指す。	
	○					英検準2級の英単語・熟語を書き覚える。	
	○					英検準2級のリスニング問題に対応できるようになる。	
	○					英検準2級の筆記問題に対応できる力をつける。	
○					英検準2級程度の英作文を書けるようになる。		
テキスト・教材 参考図書	英検準2級過去6回全問題集(旺文社)・でる順パス単英検準2級(旺文社)・英検準2級書き覚えノート(旺文社)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	リスニング・短文の語句空所補充			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	3	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	4	リスニング・短文の語句空所補充・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと。		
	5	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	6	リスニング・長文の語句空所補充テキスト・英作文			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	リスニング・長文の内容一致選択テキスト			授業内容に係る確認テストを実施するので、復習しておくこと。		
	9						
10							
評価方法	(1)学期末試験(筆記)を実施する。(2)検定取得を考慮する。(3)授業の中で小テストを5回実施する。以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		○				50%
	小テスト		○				50%
	検定取得		○				
	朝課題・宿題・授業態度				○		
履修上の注意	授業中の携帯電話使用を禁止します。英単語検索は、電子辞書、または英語辞典等を持参してください。出席が講義回数の3分の2に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	実用英語 補講 I、II						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	内丸 誌帆		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテルブライダル・エアライン科 1年 2年						
授業概要	英検3級の実力を想定し、さらに実践レベルでの使い方を学ぶ						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他		
	○				あ 会話の内容を聞き取り、短文英語で答えることができる。		
	○	○			頻出のイディオムを含んだ文章(10文程度)を暗唱・ライティングできる		
			○		宿題・授業内での課題を期限内に提出できる		
テキスト・教材 参考図書	啓隆社 英作基本文例600/Baton Pass						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	実用英語1 補講 不定詞					
	2	実用英語2 補講 動名詞					
	3	実用英語3 補講 分詞					
	4	実用英語4 補講 比較					
	5	実用英語5 補講 関係詞					
	6	実用英語6 補講 接続詞					
	7	実用英語7 補講 まとめ					
	8	実用英語8 補講 まとめ・テスト					
評価方法	小テスト・宿題・提出物・定期試験を実施する 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト	○	○				20%
	宿題・レポート		○				20%
	態度				○		10%
履修上の注意							

科目名	GCB II						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年生						
授業概要	<p>学生を主体者と認め、肯定的な姿勢で取り組み、学生自身に「気づき」を促すことにより、継続的な行動変容につなげる。 社会の変化に対応できる良識とスキル・知識を備え即戦力として社会で活躍する為、恵まれた人生を過ごしていることに感謝し、地域・国家の発展に貢献できる人材を目指す。</p>						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		考えることの大切さを知る(先人の話や自分を取り巻く環境について考える)	
	○	○		○		自分の言葉で伝える大切さを知る(言語化し、自分の成長を実感する)	
	○	○		○		目標の大切さ、志の大切さを知る(目標が定めることで行動することを知る)	
	○	○		○		行動する大切さに気づき、実践できる	
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシックII 志の教育 学生用テキスト						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	・オリエンテーション ・グローバルシティズンと志			振り返りシート提出		
	2	・なぜ志を立てることが大切なのか			振り返りシート提出		
	3	・自己を知る			振り返りシート提出		
	4	・伝える力を学ぶ(1)～プレゼンテーション～			振り返りシート提出		
	5	・伝える力を学ぶ(2) ～グループコミュニケーション～			振り返りシート提出		
	6	・先人の志に学ぶ ～プロとは～			振り返りシート提出		
	7	・成功者の考え方に学ぶ ～まとめてに向けて～			振り返りシート提出		
	8	・スピーチ(授業を受けての振り返り)			振り返りシート提出		
評価方法	(1)授業姿勢 (2)スピーチ実施 (3)レポート提出 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(単位認定)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出席	○			○		100%
	授業態度	○			○		
	スピーチ	○	○		○		
レポート提出	○	○		○			
履修上の注意							

科目名	ウエディングセレモニー概論②						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	丸尾陽実		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	結婚および結婚式に必要な専門知識と実践的なブライダルマネジメントに繋がる能力を学ぶ また、BIA主催であるアソシエイトブライダルコーディネーター試験合格を目指す						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					結婚及び結婚式に関する一般常識、文化、法令、慣習、宗教、儀礼、作法等に関する知識修得	
	○					ブライダルサービスやプランの企画・プランニングのイメージングができ、発表できる	
				○		提案、説明、承諾のステップを踏まえたプレゼンテーションができる	
	○			○		課題に対しグループで協力して取り組む姿勢がみられる	
	○					アソシエイトブライダルコーディネーター試験に合格する	
テキスト・教材 参考図書	ブライダルコーディネーターテキストスタンダード、ブライダル用語辞典						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	ブライダルコーディネーター業務				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	2	ブライダルアイテムの選定～衣裳～				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	3	ブライダルアイテムの選定～ブーケフラワーアイテム～				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	4	当日業務～コーディネーター役割・進行表・アテンド業務・～				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	5	当日業務～テーブルセッティング・サービス～				教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと	
	6	模擬試験①					
	7	模擬試験②					
	8	アソシエイトブライダルコーディネーター試験					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)宿題・レポートを1回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎			◎		50%
	宿題・レポート				◎		50%
履修上の注意	出席が6回に満たない場合は、定期試験の受験資格を与えない。						

科目名	バンケット演習						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年生						
授業概要	模擬結婚式に向けての披露宴会場のセッティング、料飲サービスの基本について学ぶ その中で、バンケットサービスの基本・指示を受けて行動することを理解する。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○		○	○		会場設営、イス引き、飲料・料理提供ができるようになる	
		○		○		模擬結婚式にむけての準備、サービス手順を学び、実践できる	
		○		○		チームの中での役割を全うし、チームワークの重要性を理解する	
テキスト・教材 参考図書	・基礎からわかるレストランサービスマニュアル 一般社団法人日本ホテルレストランサービス技能協会 ・宴会サービスの教科書 日本ホテルレストラン経営研究所						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	宴会の仕組み・宴席の種類と概要、チーム作成			実習服着用、髪型・爪を整える。		
	2	バンケット：宴席手配書と会場レイアウトの読み方			実習服着用、髪型・爪を整える。		
	3	バンケット：レストランでのサービスとの違い、バンケット独自のサービス			実習服着用、髪型・爪を整える。		
	4	挙式の動き、一般宴席の動き①サービス練習			実習服着用、髪型・爪を整える。		
	5	挙式の動き、一般宴席の動き②会場設営練習			実習服着用、髪型・爪を整える。		
	6	実技試験対策：宴席プランA 例会のプラン			実習服着用、髪型・爪を整える。		
	7	実技試験対策：宴席プランB フルコースのセットを行うプラン			実習服着用、髪型・爪を整える。		
	8	実技試験			実習服着用、髪型・爪を整える。		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)実技試験を行い、評価する。 (2)グループで宴会を作る際の、業務分担やそれぞれに与えられた役割を全うする。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	実技試験	○	○	◎			50%
	業務分担・チームワーク			○	◎		50%
履修上の注意	身だしなみを整え、実習服を着用して授業に参加してください。						

科目名	ブライダルアイテム演習									
科目名(英)										
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	井上 ゆかり					
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○					
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年									
授業概要	結婚式に関わるアイテムには、衣裳・ブーケ・ヘア・テーブル装飾・招待状や席次表・受付装飾など様々なものがあります。また、新郎新婦お二人のコンセプト、テーマに基づきアイテムを提案・選定する必要があります。この授業では様々なアイテムの中でも、会場装飾、衣裳、ブーケについて、実際の会場見学や本物の衣裳、また実技を通して習得していきます。									
授業形式	講義:	△	演習:	○	実習:		実技:		※ 主たる方法:○	その他:△
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
	○	○				ブライダルの関連業種を知りそれぞれの役割を説明する事ができる				
	○	○				ドレスコーディネーターとしてお客様の要望をお伺いしながら最適な衣裳の提案ができる				
			○	○		衣裳やテーマに合わせたデザインのブーケを作成することができる				
テキスト・教材 参考図書	配布プリント									
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示				
	1	模擬結婚式準備(会場見学)								
	2	模擬結婚式準備(会場見学)								
	3	衣装選定～ドレスコード、花嫁・花婿の衣裳・小物～								
	4	ドレスコーディネーター&アテンド								
	5	模擬結婚式ブーケ・ブートニア作成①								
	6	模擬結婚式ブーケ・ブートニア作成②								
	7	模擬結婚式ブーケ・ブートニア作成③								
	8	模擬結婚式ヘッドパーツ作成								
評価方法	(1)授業態度は積極的な発言・質問で評価する(2)意欲・努力は指示内容の取り組み方にて評価する(3)制作物の完成状況 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	授業態度	◎	○		◎		25%			
	意欲・努力				◎		25%			
	制作物		◎	○			50%			
履修上の注意	2コマ続きの授業です。欠席が3回以上となる場合は、単位未取得となります。									

科目名	ブライダル実習						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	80時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年						
授業概要	ブライダル業界でのインターンシップに必要とされる基礎知識(専門用語や敬語、社会人としてのマナーなど)を身に付け、その後、北九州市内のホテル・専門式場・企業における様々な部門の就業体験を通して、実践的スキルを習得し、業界への視野を広げる。						
授業形式	講義: △	演習:	実習: ○	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					接客時に用いる敬語や言い回しを覚え、実際にお客様と会話することができる。	
		○				業界用語について学び、実習中にそれらを用いて社員とコミュニケーションをとることができる。	
				○		就業規則を遵守し、社会人としての行動をとることができる。	
		○				個人情報や社外秘の取り扱いについて理解し、各企業ルールに沿って業務できる。	
	○					自ら仕事を見つけ、社員に対して改善点を提案することができる。	
テキスト・教材 参考図書	ブライダル実習ノート						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
		各企業でのインターンシップ			シフト表を確認し、業務内容を把握しておくこと。		
評価方法	実習先企業からの評価を基に、出勤状況を加味し、評価を行う。実習の単位認定評価(R評価)。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	出勤状況				○		100%
履修上の注意	日常の出席率・提出物状況・授業態度が実習にふさわしくないと判断した場合、実習参加を中止する。						

科目名	レストラン実務②						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	前期で学んだ、レストランサービスの業務知識と、夏季実習での経験をリンクさせ、実際の道具や食材で実践し、五感で体験することを学び、料理説明力向上など、実践の基礎を作る。						
授業形式	講義: △	演習:	実習:	実技: ○	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					アレルギーやユニバーサルサービスを学び、現場での対応力の基礎を身につける	
		○	○			嗜好品であるコーヒーやワインなど、レストランでの必須知識を知る	
		○	○		○	2年次に受験するHRS検定実技試験の模擬練習を行い、基礎をつくる。	
テキスト・教材 参考図書	基礎からわかる レストランサービススタンダードマニュアル						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	前期復習と料飲業務の基礎					
	2	ゲストのアレルギーとNG食材					
	3	コーヒーと紅茶の基礎					
	4	食前酒とカクテルの基礎					
	5	ワインの基礎・ワインの抜栓					
	6	チーズの基礎・カッティング					
	7	ユニバーサルサービス					
	8	前期中間試験(筆記)					
	9	レストランサービス実技①					
	10	レストランサービス実技②					
	11	レストランサービス実技③					
	12	レストランサービス実技試験①					
	13	レストランサービス実技試験②					
	14	レストランサービス実技試験③					
15	後期授業期末試験						
評価方法	(1)中間試験は1年時に学んだレストラン業務関連知識の試験を行い評価する。(2)実技試験はHRS実技試験を元にした試験を行い評価する。(3)授業態度は積極的な練習・発言・質問で評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準はS(90点以上)A(80点以上)B(70点以上)C(60点以上)D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	中間試験	○	◎				30%
	実技試験	○		◎			50%
	授業態度					○	20%
履修上の注意	身だしなみを整え、実習服着用のこと。						

科目名	一般教養 I - ②						
科目名(英)	Common sense						
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	島 一弘		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテルブライダル科 1年						
授業概要	日本という社会において意思疎通を図れる用語や計算を駆使することができるようことを目指す。また日本社会はもちろん外国の社会の仕組みやその役割・機能を理解習得を目指す。						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					日本国民としての社会を理解する基本用語の理解ができる。	
		○				基本的な数学計算ができる。	
				○		常にあらゆるものに対して「なぜ」という疑問を持ち、問題に取り組む姿勢を持つ。	
テキスト・教材 参考図書	プラス内定2021年卒版「一般常識&最新時事」(新星出版社)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	四則の計算①			復習で理解し練習を重ねること		
	2	四則の計算②			復習で理解し練習を重ねること		
	3	方程式①			復習で理解し練習を重ねること		
	4	方程式②			復習で理解し練習を重ねること		
	5	比例と反比例			復習で理解し練習を重ねること		
	6	一次関数			復習で理解し練習を重ねること		
	7	二次関数			復習で理解し練習を重ねること		
	8	図形			復習で理解し練習を重ねること		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)小テストを実施する。(3)宿題・レポートを毎回実施する。 * 学習意欲(居眠り・私語)は減点 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト				◎		10%
	宿題・レポート	○	◎		◎		40%
履修上の注意							

科目名	English Communication I-(2).						
科目名(英)	English Communication I						
単位数	2	時間数	30	担当者	Robert Sumner.		
実施年度	2019	実施時期	2nd term	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	Hotel / Bridal 1st Grade						
授業概要	Provide students with motivation to learn English Give students confidence to believe they can improve. Provide English skills for Everyday English + the work environment.						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		To learn English Everyday vocabulary + key words Study to give students confidence to express themselves Encourage students to speak with confidence + a positive attitude.	
テキスト・教材 参考図書	Talk a lot, Person to Person + worksheets						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Summer holidays					
	2	Hotel Reservations					
	3	Numbers + Time Expressions					
	4	Future Events					
	5	Talk about school					
	6	Hotel English					
	7	Health Problems					
	8	Talkably.					
	9	How was your weekend?					
	10	Hotel Announcements.					
	11	Around the Hotel					
	12	Could I have your name please?					
	13	Restaurant Roleplay.					
	14	Review + Test Preparation					
15	End of term test						
評価方法	定期試験	言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	小テスト	○	○				50
	宿題・レポート						
	発表・作品						
	態度・意欲				○		50
履修上の注意							

科目名	English Communication II I-②						
科目名(英)							
単位数	2	時間数	15	担当者	Colin Carmichael		
実施年度	2019	実施時期	Second Term	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	HOTEL BRIDAL 1st Year						
授業概要	Inter-action with English speaking customers. Basic English Conversation Using English with confidence						
授業形式	講義:	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○					Customer Inter-action	
	○					Basic English Conversation	
	○					Using English confidently	
テキスト・教材 参考図書	Passport 1 Talk-a-lot face to face						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	Summer Placement - Where did you go?					
	2	Talk a lot (Review) Unit 1-8					
	3	face to face (Review) Units 1-6					
	4	Passport Intro listening and Reading					
	5	Passport Unit 1 on an airline					
	6	Passport Unit 2 Passport control					
	7	Talk-a-lot Unit 7,8					
	8	Talk a lot Unit 8,9					
	9	Talk a lot Unit 10,11					
	10	Talk a lot Unit 12,13					
	11	Passport in a shop (shopping)					
	12	Talk a lot Unit 14,15					
	13	Review Talk a lot					
	14	Review and pre-test practise					
15	Test / Level check.						
評価方法		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	○	○				50%
	小テスト						
	宿題・レポート						
	発表・作品						
	態度・意欲				○ ○		50%
履修上の注意							

科目名	韓国語 I						
科目名(英)	korean						
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	李 銀晶(イ・ウンジョン)		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年生						
授業概要	この授業では、隣の国である「韓国」の社会と文化を日本社会と比べながらしっかり理解して、韓国語の文字基本会話・文法について学びます。さらに、この授業をきっかけにして日韓両国の「架け橋」になりたいという強い意志を求めて、グローバルな視野を持ち、国際的に活躍できる人物を育成します。基本的な韓国語のコミュニケーションスキルと韓国社会・文化について同時に講義を進めます。また、発音・会話練習があり、韓国語会話について自信感を高めます。さらに、韓国社会・文化の理解を得て、日韓関係について関心を深めることを目的とします。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				韓国語の文字・基本会話を覚えて、基本的な韓国語コミュニケーションを習得する	
		○				韓国語の文法について理解を得て、日本語の文法と比較する。	
	○	○				韓国語能力試験対策(TOPIK)2級に合格する。(個人受験)	
				○		韓国社会と文化と理解して日韓両国関係の改善に寄与する	
テキスト・教材 参考図書	韓国語学習スタートブック、韓国語能力試験合格対策講座NEW TOPIK ! (白帝社)						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	韓国語能力試験対策講座	単語練習(1)	名詞	テキストを事前に読んでおくこと		
	2~4	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習		テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	5	韓国語能力試験対策講座	単語練習(2)	動詞	テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	6~8	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習		テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	9	韓国語能力試験対策講座	単語練習(3)	形容詞	テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	10~12	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習		テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	13	韓国語能力試験対策講座	単語練習(4)	名詞	テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	14~16	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習		テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	17	韓国語能力試験対策講座	単語練習(5)	副詞ーその他	テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	18~20	韓国語能力試験対策講座	読解練習・聴解練習		テキストを事前に読んでおくこと 習った単語を3回ノートに書くこと		
	21	特別講座	九州の中に韓国文化				
	22	模擬テスト実施					
23	まとめ、総合復習						
評価方法	1.期末試験を実施する 2.出欠状況(無断欠席の場合は減点理由となります。)3.授業態度以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	出欠状況				◎		50%
	授業態度				◎		
履修上の注意							

科目名	自己表現						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につけ、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導等を行う。就職内定・卒業						
授業概要	社会人になる上でのマナーや身嗜み、教養知識を身につけ、就職活動における企業研究・履歴書添削・面接指導等を行う。就職内定・卒業 ①就職活動に必要な書類(履歴書・ES)作成 ②求職票受付面接の指導・面接のための自己分析 ③ホテル・ブライダル業界の採用情報、企業が求める人材・資質について学ぶ ④企業研究・業界研究を徹底する						
授業形式	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					就職活動に必要な書類の作成	
		○				求職票受付面接の指導、面接の為の自己分析	
		○				ホテル・ブライダル業界の採用情報、企業の求める人材・資質について学ぶ	
		○				企業・業界研究	
テキスト・教材 参考図書	就職活動ガイドブック						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	自己表現の意味			服装・髪型を整えて授業に臨むこと		
	2	求職票受付面接について			服装・髪型を整えて授業に臨むこと		
	3	自己PRの作成 分析と表現			服装・髪型を整えて授業に臨むこと		
	4	志望動機の作成			服装・髪型を整えて授業に臨むこと		
	5	求職票受付面接指導 ①面接の流れと基本の動作			服装・髪型を整えて授業に臨むこと		
	6	求職票受付面接指導 ②質疑応答ロールプレイング			服装・髪型を整えて授業に臨むこと		
	7	求職票受付面接指導 ③グループ練習			服装・髪型を整えて授業に臨むこと		
	8	求職票受付面接指導 ④模擬面接			服装・髪型を整えて授業に臨むこと		
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)提出物(履歴書・求面票)は各期限を設定する (2)求職票受付面接・就職面接に対する意欲を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	履歴書・求面票				◎		50%
	意欲・努力				◎		50%
履修上の注意	就職活動週間、スーツ登校・髪型を整えて参加すること						

科目名	社会教養 I						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	小形 享平		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科1年生						
授業概要	夏季実習を終えて、学んだこと、経験したことをまとめた資料を作成し報告会を行う。 求職票受付面接に必要な求職票の作成、自己分析・自己PRができるようになること。 業界の採用情報や業界が求める人材装・資質についての知識を得るなど、就職活動の準備を行う。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技: △	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				ホテル実習で経験したことをプレゼンテーションで公表し情報共有を行う。	
		○				求職票受付面接に向けた準備を行い、本番に備える。	
		○	○			新聞の読み方、業界の調べ方などを知り、情報収集の基礎とする。	
				○	○	模擬結婚式の打ち合わせや交流会で交流を深める。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動ガイドブック ・ホテル業界就職ガイド 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	後期目標設定・ホテル実習報告会について					
	2	1・2年生模擬結婚式打ち合わせ①					
	3	1・2年生模擬結婚式打ち合わせ②					
	4	日経MJ新聞の活用方法					
	5	麻生塾就職斡旋規定・就職活動の流れについて					
	6	ホテル実習報告会					
	7	求職票の書き方と求職受付面接について				水性ボールペンを準備してください	
	8	観光系交流会:ハロウィンパーティ					
	9	求職票の書き方と求職受付面接について					
	10	履歴書用写真撮影				完璧なリクルートスタイルで出校してください	
	11	就職模擬試験					
	12	求職票受付面接対策				完璧なリクルートスタイルで出校してください	
	13	自己分析とキャリアプランニング					
	14	企業研究の方法について					
15	エントリーシートの作成について						
評価方法	(1)実習内容やホテルで学んだことの報告会を行いプレゼンテーション内容等を評価する。(2)日経MJ新聞のスクラップブックや求職票などの提出物の提出状況を評価する。(3)授業中の積極的な発言や質問を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	プレゼンテーション	○	◎	○			50%
	提出物	◎			○		30%
	授業態度				◎	○	20%
履修上の注意	求職票作成に際して水性ボールペン準備をすること。						

科目名	宿泊実務②						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	15時間	担当者	藏田純子		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目	○		
対象学科・学年	ホテル・ブライダル科 1年						
授業概要	お客さまの到着から出発までの動線を把握し、そこに携わるそれぞれの業務について十分理解を深め行動化できるようにする。またホテルスタッフに必要な知識と資質を身に付け、お客さまのニーズに合わせたサービスの提供ができるようにする。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○			○		ホテル宿泊部門の業務に必要な知識を身に付け、行動化できる。	
		○				ホテルチェックイン業務や予約の際の電話応対が実践できる。	
					○	観察力を身に付け、お客さまへの配慮や心遣いができる。ホスピタリティについて理解し行動ができる。	
テキスト・教材 参考図書	株式会社ウイネット 宿泊Ⅱ フロントサービス編						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1章 宿泊部門の業務について 第2章 ドアマン業務について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	2	第3章 ベルマン業務について			次回のチェックイン業務 ロールプレイ予習		
	3	ご予約のお客さまのチェックイン業務の実践 (ロールプレイ)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	4	第4章 クローク業務について			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	5	第5章 客室部門 ハウスキーピングについて			ベットメイキング ロールプレイの予習		
	6	ベットメイキングの実践 (ロールプレイ)			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	7	第6章 コンシェルジュ業務について ホテルスタッフとしての心構え			教科書の該当範囲を事前に読んでおくこと		
	8	まとめ					
	9						
	10						
	11						
	12						
	13						
	14						
15							
評価方法	(1)定期試験(実践)を実施する。(2)役割演習(ロールプレイング) (3)授業態度・意欲 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験		◎	○			50%
	ロールプレイング				◎		30%
	授業態度・意欲				○		20%
履修上の注意							

科目名	中国語 I						
科目名(英)							
単位数	3単位	時間数	45時間	担当者	青柳七重		
実施年度	2019年度	実施時期	後期	実務家教員 担当科目			
対象学科・学年	観光系ホテルブライダル科1年						
授業概要	中国語の音・リズムを身に付ける。 仕事の現場ですぐに活用できる中国語を習得する。						
授業形式	講義: ○	演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○					基本の名詞文・動詞文・形容詞文で会話ができる	
	○					助動詞・アスペクト助詞を使い、よりの確な表現ができる	
	○					中国語検定試験準4級・4級の合格を目指す。	
テキスト・教材 参考図書	中国語 Hop・Step・Jnmp (KINSEIDO)/中国語検定準4級問題集						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	第1課 声調と短母音 / 第2 課子音			無料の音声ファイルをダウンロードしておく		
	2	第3課 複母音 / 第4課 鼻母音					
	3	第5課 発音上のルール・数字・教室用語・日常用語					
	4	第6課 名詞文			新出語句の確認		
	5	第6課 動詞文					
	6	第6課 自己紹介					
	7	第6課 復習・小テスト			第6課 文法事項の確認		
	8	第7課 星座と年齢			新出語句の確認		
	9	第7課 時間詞					
	10	第7課 指示代詞・連体修飾語「的」					
	11	第7課 復習・小テスト			第7課 文法事項の確認		
	12	第8課 所有、存在の動詞「有」			新出語句の確認		
	13	第8課 量詞・家族構成					
	14	第8課 形容詞文					
	15	第8課 復習・小テスト			第8課 文法事項の確認		
	16	第9課 所在の動詞「在」			新出語句の確認		
	17	第9課 介詞「離」					
	18	第9課 連動文					
	19	第9課 疑問詞疑問文					
	20	第9課 復習・小テスト			第9課 文法事項の確認		
	21	自己紹介文作成・発表			学習した文型を使って3分程度のスピーチを準備		
	22	L.1~9 まとめ					
23	期末試験						
評価方法	(1)各課終了後に小テストを実施する。(2)定期試験を実施する。(筆記) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	○				50%
	小テスト	◎	○				20%
発表		◎		◎		30%	
履修上の注意	無料の音声ファイルをダウンロードし、音・意味・漢字が結びつくように常に耳を慣らしておくこと						